

# 和服裁縫技術の解明とその発展的技法

Explication of kimono sewing and the developing explication

阿部 栄子<sup>1</sup>, 加藤 加苗<sup>2</sup>

Eiko abe, Kanae kato<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大妻女子大学家政学部, <sup>2</sup>大妻中学高等学校

キーワード：和服, 裁縫, 解明

Key words : Kimono, Sewing , Explication

## 1. 研究目的

本学の和服教育は、学祖大妻コタカ先生の残された被服製作技術の教育を土台としており、その製作技術の随所に目を見張るものがある。例えば、和服の形や帯、袋物への工夫は一般にも広く知られているところである。そこで本研究では、大妻コタカ先生の被服教育への熱意と情熱を指導書・教科書から整理し、和服製作技術への工夫、試行錯誤を解明したいと考えた。特に、和服裁縫技術に注目してこれらを明確な形として後世に残すべく、布の裁断をせずに(反物に欠みを入れずに)1枚の長着を製作する方法を取り上げ、考察することにした。

## 2. 研究実施内容

一般に和服製作では、それを構成する多様な寸法に布を裁断し、各技術の組み合わせによって完成させている。つまり、図1に示すような長大な反物(並幅[約38cm]1反[長さ約11m60cm])を全部用いて1枚のきもの(長着)を完成させる必要がある。

大妻コタカ先生の著書<sup>1)~3)</sup>の随所にも、その試行錯誤された裁断方法や裁縫技術が取り上げられている。しかし、布の裁断においては、図の提示と布不足の場合について解説を示すのみである。このようなことから、布の裁断手法においては教育の場においても裁断に戸惑うこと

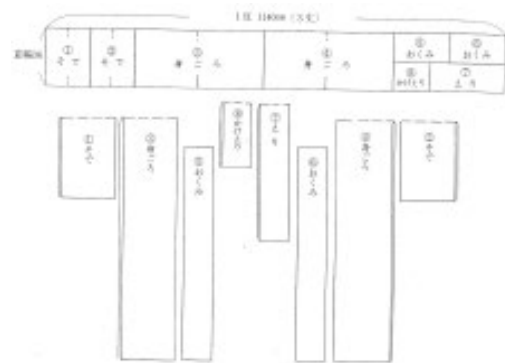


図1. 長着の製作に必要な各布

が多く、問題点も生じやすい。和服は、長い歴史の中で完成された衣服形態ではあるが、そこに至るまでの過程や技法は様々である。本研究では、特に和服製作(きもの、長着)の分野に着目するが、布の裁断をせずに長着を製作することに焦点をあて、特徴的な「きもの」の製作技法の解明を行った。

つまり本研究では、和服地として一般的に使用される絹縮緬地を用いて、布の裁断をせずに、布の一部を“つまみ縫い”することによって、図2に示すような「衿・かけ衿」布の形成に到達した。続いて、図3に示すような「衿一衿」(衿から続く衿布)のように、「衿」の確保から更に発展させ、図4には、「狭えり」仕立てのきものを見出した。しかし、狭えり仕立ての長着は標準の長着に比して、えり幅が狭く、改良を



図2. 「つまみ衿」のきもの

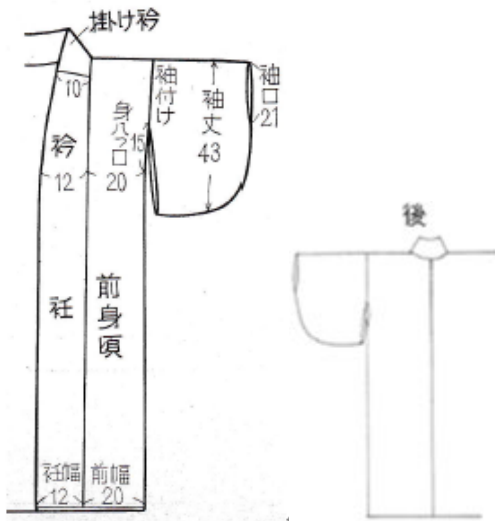


図3. 「衿-衿」のきもの



図4. 「狭衿」仕立てのきもの

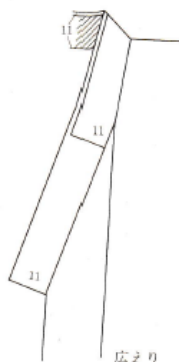


図5. 広衿 (標準仕立て)



図6. 標準仕立ての長着

要することがわかる。

図5には、きもの標準的な「広衿」仕立ての衿形状を示している(図中の数字は、衿幅各部位の標準寸法)。これまでの長着の製作に加えて、更に、広衿仕立てを目処に、白絹羽二重地を用いた裏えりを有する標準的な長着裁縫を模索した。その結果、図6に示すように布の裁断をせずに広えり仕立ての長着製作が可能となった。

### 3. まとめと今後の課題

本研究は、和服の縫製技術・技法を客観的に解明し、後世に伝えるとともに、本学の教育研究に役立て、今後の家庭科教育、被服構成学分野に大いに貢献できる手法である。

本研究の成果は、以下のようにまとめることができた。

- (1) きもの用布地として、並幅1反の反物を用い、裁断は全く行わずに製作した長着は、裁断して製作した長着に比して、大差のない見た目の良い広衿仕立ての長着(きもの)を完成させることができた。
- (2) 本縫製技術は、きもの着用後に縫いを解き、別の着物や洋服に仕立て直すことができる有用な縫製技術であると判断出来る。つまり、このことは注目すべき和服

裁縫技術で有り，応用可能な技術であることを実証できた．これは，教育の分野でも，裁断する時間が不要となり，裁断ミスの無い有用な技法となり，画期的な和服裁縫技術といえる．

- (3) 以上の裁断を行わないで，きもの（長着）を製作技術は，まさにサステイナブル（Sustainable=持続可能）きものであり，画期的な手法として考察できる．

### 学会発表

日本家政学会 2020 年度年次大会に於いて，研究成果を発表した．

### 謝辞

本研究は，大妻女子大学人間生活文化研究所の研究助成（K2018）を受けたものである．

ここに心より，感謝申し上げます．

### 参考文献

- 1)大妻コタカ.模範裁縫教科書I. 三省堂. 1927
- 2)大妻コタカ.模範裁縫教科書II. 三省堂. 1927
- 3)大妻コタカ.図解説明初歩より奥義まで和裁講座 前編後編. 日本女子教育会. 1979